

情報化施工見学会・研修会等報告書

地整名： 北陸地方整備局

1. 報告内容	該当番号(右記から選択)	4	4. 施工企業等向け出前講座、講習会等
2. 主催者	関東地整 長野国道事務所 北陸地整 千曲川河川事務所、松本砂防事務所、大町ダム管理所	3. 開催日	平成24年2月3日
情報化施工工事報告会			
4. 工事概要(研修会の場合は、記入不要)			
1)工事名:		2)工期:	
3)施工場所:		4)請負金額:	
5)受注者:			
6)施工規模・主要工種等:			
5. 見学(研修)対象情報化施工技術			
工事報告			
(1)長野国道 H21 柏原地区交通安全対策工事・・・TS出来形			
(2)長野国道 北長池改良工事・・・TS出来形			
(3)千曲川河川 岩井築堤外工事・・・TS出来形、MCBD、MGBH			
(4)千曲川河川 笠倉築堤護岸工事・・・TS締固め			
(5)情報化施工実施上の留意点(TSによる出来形管理技術の活用例)			
6. 参加者数(人)		61人	
7. 見学会(研修会)現地状況(写真貼付)			
			
8. 見学会(研修会)開催にあたって、うまくいった点・反省点など			
1)うまくいった点:平成25年度から一般化が予定されている技術があることから、参加者の情報化施工の工事導入に対する意識は高まっており、タイムリーであった。			
2)反省すべき点:今の社会情勢ではやむを得ないが、会場が事務所であったため、会場や駐車場が狭かった。			
3)その他:			
9. 見学会(研修会)参加者の反応等(コメントできる範囲で記入してください。)			
一般化に向けての費用に対する課題、自社保有機材への取付方法の課題がある一方、オペレータの高齢化に対して早期実現要望や作業環境改善により若者に魅力ある職場の実現といった意見があった。なお、本報告会の内容は好評で、ぜひ今後も継続しての開催が望まれていた。			